

取組名: 大阪府教育庁との連携協働による新たな特別支援教育プログラムの開発

今日の学校教育が直面している課題として、少子化により学齢期の児童生徒が減少する中、特別支援教育を受ける児童生徒が増加し、通常の学級においても、障害のある児童生徒が増加している。大阪府においても特別支援学校等に在籍する児童生徒数について、直近10年（平成25年度～令和5年度の比較）で約1.2倍に増加しており、特別支援学校の教員の確保が課題となっているが、大阪府の特別支援学校の教員採用における合格者数は、特に中学部・高等部で、採用予定者数を大幅に下回っており、この事は、中・高等学校教諭免許状を保持する特別支援学校教員が不足していることを表している。そこで、大阪府教育庁と大阪教育大学との連携により、入学前の高校生に対する特別支援教育への理解を深め教育の現場へと誘うプログラムの開発・実施、教育学部（学校教育教員養成課程（教科教育専攻）と特別支援教育特別専攻科とを接続する教育プログラムの開発・実施、教員採用試験における優遇措置の実施、採用後のフォローアップ体制の構築を行う。

大阪教育大学と大阪府教育庁との緊密な連携体制の構築により、 大学入学前から大学入学者選抜、在学中の教育プログラムの実施、教員採用に至るまでの一貫した取組を実施

